

白石踊の実践にみる 地域社会

～瀬戸内海離島・白石島における重要無形民俗文化財の保存と活用をめくって～

写真：岡山県笠岡市白石島（高台より）

瀬戸内海離島である白石島（岡山県笠岡市）で踊り継がれてきた盆踊り・白石踊は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。瀬戸内海国立公園に位置するこの地は、風光明媚な地と評され、観光資源としての期待も寄せられてきました。白石踊はこの地で継承されてきた島の象徴的存在でもあり、かつての踊り場には人が溢れていたと言われています。現在、島の人口減少とともに、踊りの継承がさまざまに模索されています。今回は、地域文化と観光をキーワードに、白石島という地域について探っていきます。

木原 弘恵

桃山学院大学
社会学部・社会学科 准教授

受講料
無料

受講方法

- ① 会場参加 先着50名/事前登録受付順
桃山学院大学 和泉キャンパス内
(詳細は後日、登録アドレスにメールにて送付)
- ② オンライン受講
Zoomウェビナーによる
ライブ視聴

開催日

2022年11月4日(金)
15:30～17:00

※録画の配信はございません。

申込方法

右記QRコードから
の事前登録制



※ご登録後すぐに、参加に関する確認
メールが届きます。